



門 13
號 1851
卷 5



新著修雅後五

目錄

おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像
おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像	おのり 像

欠

五

辨認

狂くつらつらと胃つららハチマキの
 せし喉を何ぞかんでこがれりや
 まらぬ一ツはらつらつひまらぬ
 定まらつらつらつらつらつらつ
 めもろろせむらつらつらつらつらつ
 赤白

あつ甲全を何ぞかかぬな様をどの

如き房柄を何ぞかかぬな様をどの
 如きのまらつらつらつらつらつらつ
 のまらつらつらつらつらつらつらつ
 日をつらののけつらつらつらつらつ
 如きを何ぞかかぬな様をどの
 おしゆどくまらつらつらつらつ

小六が孫

風ふたが孫むむむむむむむむむ
 づめりむむむむむむむむむむむ

飲

1
2
3



9



飲

1
2
3

いづこ又たが初づこ「まかしくあしくし南」
おろけは歌でたのこ「けいこつりしはみでり
やけい又こころうがうまのまじり「けいこつり
「まじり」あがこのまじりおろけ卓子
しつば「おれ」まじりまじりまじり
今くあ。 はなみよのまじりまじりまじり
まじりまじりまじりまじり

せらく

は百おろけまじりまじりまじり
あ。おろけの初日まじりまじり
まじりまじりまじりまじり
まじりまじりまじりまじり

つば

おろけのまじりまじりまじり
あせまあまのまじりまじり
まじりまじりまじりまじり
まじりまじりまじりまじり

おろけ

まじりまじりまじりまじり
まじりまじりまじりまじり



びろろけがらふくむらひのやうなびらきつゝをせぬく
ふくまひますのでせらちんぬのどくやまをこせ
せらちんぬのどくやまをこせ

とやうな隊

孫がらの押入連中をこせかくかたじけなく
りまきど一軒も崩れおちたんまづまなげ
の御子一人やまゝあつて換へて
いつてんときまわれぬの御子けよくま
まの打はげと舞をぬまよりのゆき

ちやうど子孫あつてのどなすゝとて
あひまの夜のゆきまをばあひの御子
様とて一軒も崩れおちたんまづまなげ
まの打はげと舞をぬまよりのゆき
のどなすゝとてのどなすゝとて
けまきどいつてんまづまなげとて
いつてんまづまなげとて
るやうな御子一人やまゝあつて

魁一つ

古今の物語の御座りし之は
いりしの新編の御座りし
あしといふ行る無原の御座りし

新編の御座りし

一寸の御座りし

通俗粹乃腸

全部五冊

右と日板の仕の御座りし

寛政十年日未春正月

京都書肆

鈔屋安兵衛板

浪花書肆

和泉屋源七板

